

中国語における依頼表現の丁寧度

若生久美子

(中国山東省泰山医学院)

神田富美子

(台湾和春技術学院応用外語科)

筆者在中国的某些小城市作了问卷调查,就汉语中关于请求的表达方式作了研究。得出据其表达的客气程度的强弱可以进行次序排列。

“能不能(能吗)”“我想”,同时笔者认为用“请”的表达方式中存在某些问题,对其作了分析,得出下面的结论。到目前为止,用“能不能”“我想”的表达方式在日常用语中还不够普遍,但是它在文化程度较高的,喜欢婉转表达的年轻人当中则比较普遍。可见,客气程度的强弱取决于“开场白”和“称呼”等因素。从小说和剧本中引用了例子,对结论加以验证。

随着社会的发展,多元化,汉语的表达方式也更加多样化。也许不久的将来,由于场合,人际关系的不断的复杂化,人们将使用各种不同的表达方式以适应这种变化。

1. はじめに
2. 聞き取り調査
 - 2.1. 調査対象、方法、内容
 - 2.2. 調査結果
3. 分析
 - 3.1. “请…”の現れる環境とその分析
 - 3.2. “能不能…”“能…吗”の現れる環境とその分析
 - 3.3. “我想…”の現れる環境とその分析
 - 3.4. まとめ
4. おわりに

1. はじめに

中国語には日本語のように体系化された敬語の文法や表現形式がない、とはよく言われることではあるが、場面と人間関係に応じた表現の使い分

けは存在している。この一端を明らかにするために、依頼表現を取り上げて分析する。

依頼の丁寧さはもちろん言語のみではなく、依頼時の発話者の語調、表情、物腰などによっても影響する。同じ内容でもきつい言い方をすれば丁寧度は下がる。また、丁寧度は依頼する対象との上下、親疎関係、依頼の内容、その妥当性などによって左右される。依頼表現における丁寧度のランク付けは外国語としての中国語学習においても重要であると思われる。

今回は実際に発話される言語表現形式を主に考察するが、紙面では表現しにくい語気や物腰をも念頭に入れて分析したい。

まず、聞き取り調査により、現在使われている丁寧な依頼表現の使用状況、傾向などを分類する。次に、シナリオ、小説などから例を引き、さらに考察を加える。

2. 聞き取り調査 (99. 2～3)

2.1. 調査対象、方法、内容

ランク付けの方法は、まず、具体的な場面を設定し、いくつかの重要と思われる表現を中国語のネイティブと協議のうえ選択し、中国語ネイティブに丁寧と思われる順序に並べ替えてもらった。選択した表現以外にも依頼表現はあるが、丁寧度をみるうえからあまり意味がないとされる表現、あまり差がないと思われる表現は削除した。

調査は山東省泰安市及び安徽省蕪湖市の二つの地方都市で行った。泰安では20代から40代前半の高等専門学校または大学卒業ですでに社会に出て働いている人、蕪湖では10代後半から20代前半の高等専門学校で学んでいる学生、合計21名に調査を行った¹⁾。

調査は筆者とインフォーマントとの一人ずつの対面調査方式で行った²⁾。

郵便局で見知らぬ相手にペンを借りるという依頼場面を設定し³⁾、基本的な丁寧な依頼の表現文型の大類として、次の3種を設定した。

A 能不能…? 能…吗?

B 我想…

C 请…

これらを中心とした依頼表現に、その他依頼として使われる表現を加

え、以下の a から z までの 26 の表現を用意した。

- a 麻烦你，能不能借用一下你的钢笔？
- b 麻烦你，能借给我用一下你的钢笔？
- c 麻烦你，我想借用一下你的钢笔，可以吗？
- d 我想借用一下你的钢笔，可以吗？
- e 麻烦你，能用一下你的钢笔吗？
- f 对不起，能借给我用一下你的钢笔吗？
- g 麻烦你，请借给我用一下，好吗？
- h 对不起，请借给我用一下，好吗？
- i 麻烦你，把你的钢笔借用一下，好吗？
- j 对不起，把你的钢笔借用一下，好吗？
- k 能不能借用一下你的钢笔？
- l 能借给我用一下你的钢笔吗？
- m 能把你的钢笔给我用一下吗？
- n 麻烦你，我想借用一下你的钢笔。
- o 对不起，我想借用一下你的钢笔。
- p 麻烦你，把你的钢笔借用一下。
- q 对不起，把你的钢笔借用一下。
- r 请借给我用一下，可以吗？
- s 请借给我用一下，好吗？
- t 能用一下你的钢笔吗？
- u 我想借用一下你的钢笔。
- v 把你的钢笔借用一下，可以吗？
- w 把你的钢笔借用一下，好吗？
- x 请把你的钢笔借给我用一下。
- y 把你的钢笔借用一下。
- z 借用一下。

2.2. 調査結果（個別の調査結果は論文末）

大類を丁寧度の高い順から並べてもらうと、A B C の順が一番多かった⁴⁾。

上記に設定した依頼場面で、実際に自分がどう言うかをインフォーマントに尋ねたところ、ほとんどのインフォーマントが使うとしたのは、yの“把你的钢笔借用一下。”（丁寧度25位）もしくは、それに“麻烦你”“对不起”などの「礼貌語」、または“可以吗？”“好吗？”などの「問句」が付いた表現である。丁寧な依頼表現文型であろうとした上記の3類はほとんど使用されない（丁寧に言うと、と条件を付けるとこの3類を使った表現が現れる）。今回の泰安で行った聞き取り調査では、インフォーマントの間に大きな意見の差は見られなかった。つまり、この表現を使えば丁寧であるというという認識にそれほど大きな個人差はない。だが、蕪湖での調査を見ると、順位にかなりのばらつきがある。同じ学生といっても、インフォーマント⑪～⑭は卒業を控えた3年生の女性であり、インフォーマント⑮～⑳は98年9月に入学した1年生である（安徽省の小都市または農村の出身者が多い）。インフォーマント⑪～⑭は泰安の社会人と同じような傾向を示しているので、この違いは泰安市と蕪湖市という地方差ではなく、都市と農村という対立によるものではないかと思われるが、今回の調査ではこの点は特に追求しなかった。ばらつきの大きな原因の一つに“我想…”“请…”を使った構文に対する認識の違いがあると思われる（詳細は3章参照）。

構文以外の丁寧度を付加するための表現に関しては、個人的な好みに影響するところもあるが、一般的な傾向を調査結果から類推することができる。依頼表現の丁寧度には“麻烦你”“对不起”などの「礼貌語」と、“可以吗？”“好吗？”などの「問句」の使用が大きく関わっていると思われる。

“麻烦你”“对不起”はどちらも相手の注意を引く呼びかけ語である。これらを付けると唐突に依頼を切り出す不躰さが緩和され丁寧度が増す。この呼びかけ語がない場合、前述の依頼表現の3類のどれを使おうとも、その表現の丁寧度はかなり下がる。この二つにはあまり語感の差はないとしながらも20人のインフォーマントが“麻烦你”のほうを丁寧度上位に置いた⁵⁾。

このほか“小姐，先生”などと呼びかけても、丁寧度を付加する効果があるという⁶⁾。だが、このような呼称、特に“先生”と呼びかけるのには

抵抗を示すインフォーマントが多かった。“同志”という誰にでも使えた便利な呼称が今であり使われなくなったために⁷⁾、これに代わる呼称が必要になったのだが、見知らぬ人に呼びかけ依頼するような場合、誰にでも使えかつ丁寧な語感がする“麻烦你”“对不起”というような言葉が呼びかけ語に転用されるようになったのだろう⁸⁾。

丁寧度において“可以吗？”“好吗？”もあまり変わらないとしながらもほとんどのインフォーマントが“可以吗？”を“好吗？”より上位に置いている。相手の許可を得る依頼文においては“可以吗？”のほうが適しているようである。

“能不能…，可以吗（好吗）？”“能…吗，可以吗（好吗）？”という調査対象項目も用意したのだが、ほとんどのインフォーマントに不自然とされたため、項目から削除した。“能不能…？”“能…吗？”ですでに相手の意向を尋ねているので、さらに“可以吗（好吗）？”を付け加えるのは重複であり、しつこく、不自然だと感じるらしい。だが、3類では“能不能…？”“能…吗？”を一番丁寧だとしながらも、26項目の調査では、「問句」がないゆえに、丁寧度が下がるとしたインフォーマントもいた⁸⁾。

3類のどの表現を使おうとも、「礼貌語」「問句」の二つが付加されることによって、丁寧度が大幅にアップすることはすべてのインフォーマントに共通している。だが、「礼貌語」と「問句」のどちらか一つしか使わない場合は、どちらを選択した方が丁寧であるかという点に関しては、16名のインフォーマントは「問句」、3名のインフォーマントは「礼貌語」を上位に置いている（2名に関してはこの調査結果からは確定できない）。

今回の聞き取り調査で得られた結果は以上である⁹⁾。

この聞き取り調査で得られた結果を補強するために、ドラマ、小説などから例を挙げて、3章で依頼表現の重要構文と思われる3類について考察する。

3. 分析

3.1. “请”の現れる環境とその分析

“请”については「中日辞典」（小学館1992）に「＜敬語＞どうぞ（～し

てください)」とあり、“请进，请教”などの例が紹介されている。‘八百词’（商務印書館出版1980）には“敬辞。用于希望对方做某事”とある。確かに“请”には敬意を示す場合もあるが、依頼表現の丁寧度を高める場合にはあまりそぐわないということが、前記の調査結果から推測できる。しかし、外国人が中国語を学習する際、“请”は学習の初期に出現し、依頼や勧めの表現を丁寧化するとして説明されている。では、“请”は実際にどのような環境において現れるのか、以下例を挙げる。

(1) “蓝风争”（映画）

近所の奥さんが貸したラジオを返してもらうために訪ねてくる。ノックをすると中から答えが返ってくる。

“请进！”「どうぞ」

(2) 『青島アパートの夏』（映画）

中年夫婦がアパートの一室に住む劉主任を訪ねてくるが、部屋がわからず、夫の方が居合わせた住人に尋ねる。

“请问刘主任住在哪里？”

「すみません、劉主任の部屋はどちらですか？」

“一楼”「一階です」

“好，谢谢。”「あ、どうも」

(3) “人到中年”（映画）

看護婦が話し合いをしている医者 of 陸に電話だと呼びかける。

“陆大夫，你的电话！”「陸先生、お電話です」

“请稍等一下。”「ちょっと待ってください」

1～3は慣用的に用いられるものである。いずれも“请”は後ろに来る“问，进，等”などの客語を丁寧化するものであり、依頼に見られる恩恵の賦与、相手の意向の配慮はない。1のように相手が誰かわからない場合、2のように知り合いではない場合、3のように知り合いの場合、といずれの場合にも用いられる。この慣用的な“请”の使用頻度は非常に高い¹⁰⁾。

(4) 航空機内の表示

“请系好安全带”「安全ベルトをお締めください」

(5) ホテルの電話案内

客房电话：三至九楼请在房间号前加6，十至十二楼请直拨房间号

「客室間の電話：3階から9階までは部屋番号の前に6を、10階から12階までは直接部屋番号をまわしてください」

4、5のような用法は指示書や説明書に多く見られる。いずれも公的な立場から発せられたものであり、丁寧な要求の形はとっているが、意味するところは命令であり強制力を持っている。“请不要抽烟”(お煙草はご遠慮ください)“请准时出席”(出席の時間を守ってください)なども命令である。

(6) “人到中年”(映画)

医者の方主任に手術の執刀をするように説得される。

陆 “我讲不好，我觉得，有些手术，我们还是空白…”

「うまくいえないのですが、思うに、ある種の手術は、まだやったことがありませんし…」

主任 “请你讲具体一点。”「具体的にいつてくれたまえ」

(7) “林家铺子”(映画)

資金繰りに行きづまった林家の店主が借金の申し込みに金貸しのところに行く。金貸しが言う。

“前后总共是600。这笔钱年前务必请你全部还清。”

「あわせて600。年末までに必ず耳をそろえて返してくださいよ」

6、7は申し入れをしたほうが聞き手より地位、立場が高く、権威や権力がある場合である。恩恵賦与は申し入れをした方に向かってはいるが、いずれも聞き手がその要求を拒否することは難しく、命令とほぼ同等の強制力を持つ。

(8) “还珠格格”(テレビドラマ)

皇帝をかばって刺客に刺され瀕死の重傷にある紫薇が友人である小燕子の命乞いをする。

紫薇 “如果，我死了，可不可以请求你一件事？”「もし、このまま死ぬのでしたら、一つお願いをきいていただけないでしょうか」

皇帝 “什么？”「いつてみなさい」

紫薇 “请你饶小燕子不死！”「どうか小燕子を殺さないで」

8の初めの“可不可以请求你一件事”はこれから言うことを聞き届けて欲しいという丁寧な前置き、決まり文句になっている。そして、相手の反

応を待ち、友人を殺さないでくれ、と切り出す。この場合の“请”はせっぱつまった状況での強い願いである。

以上、場面を重視して“请”の用法を分類した。慣用表現としての“请”には勧誘表現として分類できるものもあるが、やはり聞き手の意向、拒否の余地は考慮されない点で、他の用法と共通している。このような“请”の用法から、丁寧度の高い依頼には“请”を用いた表現は不適切である、と言えるだろう。前述の聞き取り調査の結果からもわかるように、“请”を用いた表現に“可以吗”“好吗”を付加し相手の意向を問うことによって、丁寧な依頼表現としての使用が可能になる。“请”そのものには命令の丁寧化の作用しかない。

3.2. “能不能”“能～吗”の現れる環境とその分析

『中日辞典』（小学館 1992）の“请”の説明として、「（周囲の状況から言って）許される、…できる、…でもよい。多くは疑問または否定に用いる。“能不能”の形で、相手にていねいに依頼する、婉曲表現をつくることができる。」とある。また、相原茂（1997）によると“能”は「能力があり、その能力を発現できる」ということを表すとある。これから考えると依頼表現の“能不能”は相手が依頼を実現する能力をもち、それを発話者のために発現してくれるか、を問う表現であると言えるだろう。

では、依頼における“能”はどのような環境で現れるか、例を引きながら以下考察する。

(9) 『青島アパートの夏』（映画）

アパートの一室に住むトラブルメーカーが出ていった自分の妻はあなたを尊敬していたから一緒に実家まで迎えに行ってくれ、と引っ越してきたばかりの作家の部屋を訪ねる。

个体户 “求你一件事。……你抽烟吗？”

「ひとつ頼みたいことがあるんだが。…吸うかい？」

作家 “我不会。”「いや」

个体户 “我想把老婆接回来，能不能陪我去？”「女房を迎えに行きたいと思っているんだが、いっしょにいてくれないかな」

(10) “逃学歪传”（映画）

林と呉は男子高校生。二人は同級生だが反目しあっており友人関係があるとは言いがたい。林は彼女に頼まれ、呉をパーティーに誘う。

林「下星期她开一个派对，你能不能陪我去……」「来週、彼女がパーティーを開くんだけど、いっしょにいてくれないか…」

9では普段は“不客气”なものの言い方をする依頼者が、ここではたばこを勧め、作り笑いをしながらやんわりと依頼を切り出している。10でも依頼者は無愛想ではあるが、語気は強くない。9、10とも、聞き手が知り合いであってもあまり親しくなく、依頼を引き受けてもらえる可能性がかなり低いと思われる状況での依頼である。

(11) “齐鲁晚报” (1999年5月30日読者投稿)

7歳になるいらずらで少しませている男の子。ときには大人顔負けのことを言ってみなを笑わせる。昼寝のとき水が飲みたくなったが、自分で汲みに行くのがめんどうなので、隣の部屋にいる父親に頼む。

“爸爸，能给我拿杯水吗？”「パパ、お水持ってきてもらえますか？」
父親が自分のことは自分でしろと言ってとりあってくれないので、もう一度頼む。

“爸爸，给我拿杯水？”「パパ、お水ちょうだい」

父親が怒りそうになったが、それに臆せず、さらに言う。

“爸爸，如果你要过来教训我，能顺便给我拿杯水吗？”「パパ、こっちに叱りに来るんだったら、ついでにお水もってきてもらえますか？」

11の1回目と3回目に“能…吗？”を用いた表現を使っている。この表現は子供が親に使うには丁寧すぎる。そこに面白みがあって大人の笑いを誘うことになる。

聞き取り調査で“能不能”“能…吗”を丁寧な表現の上位に挙げながら自分で使う表現に挙げなかった原因がこの11の例でよくわかる。郵便局でペンを借りるような、依頼内容が軽い場合(拒否される可能性が低い場合)、この表現はそぐわないのだろう。

インフォーマントのほとんどが“能不能”と“能…吗”には丁寧度の差はないとしたが、具体的な例を挙げて詳しく聞くと、やはり使い分けはあり、“能不能”は“能…吗”よりさらに依頼の実現が難しいと思われるときに用いるようである。

3.3. “我想…”の現れる環境とその分析

“我想…”は自分の希望を述べ、暗に相手に自分の要求を理解してもらおうとする表現である。かなり遠回しな依頼と言える。聞き取り調査でも指摘されたように、“我想…”だけでは依頼としての効果は期待できない。礼貌語で相手に呼びかけ注意を引き、問句によって相手の意向を尋ねることによって、依頼としての効果を発揮する。逆に、礼貌語や問句がない場合、独り言で自分の希望を述べただけ、と捉えられる可能性もある。

(12) “老房有喜” (テレビドラマ)

雑居アパートに新しく引っ越してきた会社の秘書(20歳くらいの現代的な女性)が廊下にたむろしていた住人に言う。

“对不起，我想借用一下厕所。”

「すみません、お手洗いをお借りしたいんですが」

(13) “老房有喜” (テレビドラマ)

ピアノ教師の李老師が同じアパートの住人である羅老板の部屋に電話を借りに行く。

“罗老板，我想用一下电话，可以吗？”

「羅さん、電話を借りたいんですけどいいですか？」

12では、「トイレを借りたい」という希望が「トイレを貸してくれ」という依頼であることはその内容からもわかる。13では「問句」が付き、依頼であることがさらに明らかである。

この用法が依頼として使われる例はあまり多くない。また、聞き取り調査に協力してもらったインフォーマントの学生の中には、この表現を依頼に使うことに強い拒否反応を示す者もいた。だが、台湾の放送をまねた、恋人のカップリングをするテレビの視聴者参加番組などを見ると、人に何か質問するときの前置き語として“我想问一下。”が多用されている。これは以前ならば“请问。”を使っていたところである。

今回の調査によると、この“我想…”の使用には個人的な好みが大きく影響しているが、比較的文化程度の高い、柔らかい言い方を好む若い人(特に女性)には抵抗なく使われつつあるようである。

3.4. まとめ

以上、“请…”“能不能(能…吗)”“我想…”の使われた例文を挙げ、それに考察を加えた。依頼に“请…”の使われた例文は多いが、“能不能(能…吗)”“我想…”の使われた表現となると、なかなか見つからない(台湾や香港のものにはわりあいと多く出現するが)。中国語において、依頼と命令は、主に語調や語気、表情によってその区別はなされ、表現文型上はほとんど同じ形で現れる場合が多い。そして、それを依頼として使った場合にでも特に失礼にはならない。

前述の聞き取り調査でも、インフォーマントは25位に位置するyの“把你的钢笔借用一下。”を相手に使われても特に失礼とは思わないと言い、xの“请把您的钢笔借给我用一下。”と“请…”を用い命令を丁寧化して依頼に使うことができる。さらに丁寧に依頼しようと思えば、「礼貌語」の“麻烦你”“对不起”、「問句」の“可以吗?”“好吗?”を付加し、iの“麻烦你，把你的钢笔借用一下，好吗?”(丁寧度7～13位)、またはgの“麻烦你，请借给我用一下，好吗?”(丁寧度5～11位)となる。そして日常生活の中ではこれらが今まで一番丁寧だと思われていた表現だった。

だが、今それが変わりつつある。相手によって、場によって、細かく使い分ける必要がでてきた。また、それが発話者の教養、文化程度を示す一つの尺度となりつつある。これから婉曲的な依頼表現である“能不能(能…吗)”“我想…”の使用は若い人を中心に増えていくだろうと思われる。

4. おわりに

現在、中国大陸では、香港や台湾などの小説や映画、ドラマなどが多量に流れ込み、大衆の支持を得ている。香港や台湾の映画やドラマはテレビのゴールデンアワーに何回も再放送され、それをまねた「トレンドドラマ」も大陸で制作されるようになった。その中から流行語が生まれ、特に若い世代を中心に今まで使われなかった新しい言葉が日常言語の中に入り込むようになった。これは単語単位ばかりでなく、表現方法と言った広い範囲でも影響を受けている。

「呼称」をとっても、ここ20年の改革開放政策によって、「同志」とい

う誰にでも使える便利な言葉に代わって、相手によって使い分けるというめんどろな(ネイティブでもどの呼称を選べば良いか迷うような)選択をするようになった。これと同様に表現レベルでも、誰にでも使えた表現に代わって、相手にふさわしい表現を選択するという作業をするようになってきた。

この表現の分化は過渡期にあり、全体的にはまだ定着していない。一般的に「南」ほど、大都市ほど、知識階級ほど、言葉の分化は進んでいると思われる。

今回の結果で、実際に自分たちが使うとした表現は、丁寧度がかなり下位のものであったが、これはあらかじめ予測されたものである。だが、ごく丁寧だと思われる表現を相手に使われても特に不自然には感じなかったり、自分で丁寧順に並べることができるということ自体が、丁寧表現の分化はまだ明瞭ではなく、実際の言語生活に定着してはいないが、今後定着するだろうという予測の裏付けになると思われる。また、自分の好みがはっきり出る点(個人差)に、言葉の分化(多様化)への兆候をみることができると思う。

外国人が日本語を学習する際、待遇表現や敬語表現の使い分けに頭を悩ますように、今後外国人が中国語を学習する際にも対人関係を十分に考慮し、適切な表現を選択しなければならないだろう。外国人が日本語を学習、運用する際、(相手との関係が測れず失礼な表現をするのを避けるため)丁寧表現を主とするように、中国語を運用する際にも丁寧な表現の使用が望ましいだろう。

どの表現を選択するか、という基準は相手との関係、内容、場などいろいろな要素が混じり合って決定される。これは日本語でも同じであるが、注意しなければならないことは中国語と日本語にはその基準に「ずれ」があるということである。これは今回の研究対象にはしなかったが、日本人が中国語を運用する際に留意しなければならない点である。

<注>

- 1) 最初、調査の内容から考え、すでに社会に出て働いている人のほうが有効な回答が得られると思われたので、泰安で社会人を対象に調査をすすめた。これは本論には、外国人が外国語を運用する際の問題点を明らかにするという意図がある

ため、外国人が学習上、仕事上、一番接触が多いだろうと思われる階級として「知識分子」を、年代としては青壮年層をインフォーマントに選択した。が、試みに蕪湖で学生にいくつかの質問をしたところ、分析に役立ちそうな結果が得られたので、こちらでも泰安と同じ聞き取り調査を行うことにした。

- 2) 調査の内容をインフォーマントによく理解してもらうために対面調査方式を取り、同時に理由なども尋ねた。だが、それがインフォーマントの答えに何かしらの影響を与えてしまったのではないかと危惧する。
- 3) 知り合いに何かを依頼すると設定した場合、その相手との関係が言語行動に大きく影響する。全く知らない人間に対する依頼の方が、言語としての丁寧さが現れやすいのではないかと考え、依頼対象を「見知らぬ人」に設定した。そして、見知らぬ人に重大な依頼をするというのは不自然であるので、ここはペンを借りるという依頼内容にした。同じインフォーマントに「友人」に何かを依頼するという別の設定での依頼表現をいくつか尋ねたところ、興味ある点が指摘されたので以下に列挙する。

・友人に何かを依頼する場合、その依頼内容の「軽重」に関係なく、「麻烦你」「对不起」は使わない。「请…」構文も用いない。つまり、これらは基本的に見知らぬ人、親しくない人に使われる言葉だということができる。

・友人にカメラなど高価なものを借りるような場合、まず、その依頼をしなければならない状況を説明し、相手の反応を確認しながら、依頼を切り出す。

・上記の依頼が達成された場合、丁寧度を増すために保証の言葉が付け加えられる（「壊さないようにするから」「明日までにきっと返すから」など）。

普通の状態ではみずくさいとされる「感谢」「太感谢」などの感謝の言葉を、わざと大げさに冗談めかして発話される場合があるが、これはあまり丁寧度アップには関係しない。

- 4) ただし、Bの「我想…」一文だけで言い切った場合、依頼として解釈するには無理があり不自然であると感じるインフォーマントが多かった。
- 5) “对不起”は謝罪の言葉であるから、依頼の呼びかけ語として使うには抵抗があるとするインフォーマントがいた。これは泰安にも蕪湖にもいるし、また年齢も性別もまちまちだったので、地方的、年齢的、性的差ではなく、個人的な好み差にもよると思われる。
- 6) 中国では相手の名前を呼ぶことによって丁寧な挨拶になる。日本語ではこのように呼称があいさつの代わりになることはなく、また、見知らぬ人に対する呼称は非常に限られており、それを付加したからといって、丁寧度を上げる効果はあまりない。
- 7) “同志”を使わないとするインフォーマントが多かったが、使うとしたインフォーマントでも、その使用範囲は限られるとした。たとえば、郵便局や銀行で

は“同志”を使うが、レストランでは“同志”は使わず“小姐、先生”を使い、また町の“小吃店”では“老板、老板娘”などを使うという。

- 8) 北方でよく使われる問句に“行吗?”“行不行?”がある。これは今回の調査の項目には入れなかったが、インフォーマントによると“好吗?”に比べてかなりきつく“生硬”に聞こえ、確認するような場合には使うが、依頼の場合にはあまり使わないという(“行吗?”は使うというインフォーマントはいたが、“行不行?”は使わないという)また、“好吗?”については北方の男性には「女性っぽく」聞こえるらしく抵抗を感じる人もいる。今回のインフォーマントにも“好吗?”は使うが“好不好?”は語調にもよるが、甘えているような感じをうける、という意見もあった。同じく“可不可以?”を問句に使う表現もある。これは香港や台湾の小説やドラマで丁寧な依頼をするときによく見られる表現であるが、今回の調査ではインフォーマントにあまり使わないと指摘されたので削除した。だが、この表現“请借用一下你的钢笔, 可不可以?”の丁寧度に順位をつけてもらおうと、だいたい10位前後に位置するという。Vの“你的钢笔借用一下, 可以吗?”が15~24位であるのに比べるとかなり上位である。さらに、“借用一下你的钢笔, 可不可以?”と“可不可以借用一下你的钢笔?”を比べると“可不可以借用一下你的钢笔?”のほうが丁寧に聞こえると17名のインフォーマントが答えた。

- 9) 今回の聞き取り調査の項目には挙げなかったが、インフォーマントとの話の中からいくつか興味深い問題が浮かんだので以下に書き添える。

・“给我”を付加した方が丁寧度が増すのではないかと予測したが、そのような証明は得られなかった。目的語がある文に“给我”を付けると、長すぎて不自然に感じられるだけであって、依頼表現の丁寧度に変化はない。目的語のない短い文に“给我”をつけると幾分丁寧度は増すようだが、語調を整えるような働きの方が大きいと見た方がいいようだ。中国語に限らず一般に文が長いほど丁寧度が増すという傾向があるが、重複や語調の問題があるので一概にはそうと断定できない。

・“借用”と“用”を比べると、「貸して欲しい」という要求をはっきりと示した“借用”のほうが丁寧である。

・“你”より“您”のほうが丁寧であるとはするが、実際場で発話された場合、ネイティブにとっても発音が似ているので聞き分けるのは難しいという。今回の調査の依頼の丁寧度に関して言えばどちらを使うかはそれほど影響しないと言う。

・依頼表現に“一下”を付けなければ不自然となる。だが、これが大きく丁寧度に影響するか、という点になると疑問が残る。中国語の“一下”は日本語の依頼表現における「ちょっと」と同様に要求の軽減化に働くというが(木村秀樹

1987)、“一下”と「ちょっと」にはその働きに違いがあるのではないかと思う。依頼表現における“一下”の働きは“很好”における“很”の働きのように、語調やリズムとの関連から考えてみるべき点もあるのではないか。また、“用用”と重ねる言い方もあり、丁寧度からみると“用一下”と差はないが、“用一下”のほうが多く使われるという。

- 10) “请你帮忙”“请多多指教”は実際にはあまり使われない。日本人の初対面の挨拶である「どうぞよろしくお願いします」を“请多多指教”と訳すことがあるが、中国人同士の場合はこのような挨拶は一般的ではない。

<文献目録>

- 国立国語研究所報告 77 1983.『敬語と敬語意識』。三省堂。
- 相原茂 1997.『謎解き中国語文法』。講談社新書。
- 井出祥子 1986.『日本人とアメリカ人の敬語行動』。南雲堂。
- 井出祥子 1992.「日本人のウチ・ソト認識とわきまへの言語使用」『月刊言語 vol. 21, no. 12』。大修館。
- 北尾謙治・北尾 S キャスリーン 1988.「ボライトネス—人間関係を維持するコミュニケーション手段」『日本語学 3 月号』。明治書院。
- 木村秀樹 1987.「依頼表現の日中対照」『日本語学 6-10』。
- 杉戸清樹 1992.「言語行動を説明する言語表現と丁寧さ」『日本語研究第 13 号』。東京都立大学国語学研究室。
- 鈴木睦 1986-87.「日本語における依頼行為」『AKP 紀要創刊号』。同志社大学。
- 鈴木睦 1989.「聞き手の私的領域と丁寧表現の丁寧さは如何にして成り立つか」『日本語学 2 月号』。明治書院。
- 浜田麻里 1995.「依頼表現の対照研究—中国語における命令依頼の方略—」『日本語学 10 月号』。明治書院。
- 森山卓郎 1990.「「断り」の方略—対人関係調査とコミュニケーション」『月刊言語 vol. 19, no. 8』。大修館。
- 森山卓郎 1995.「「丁寧な依頼」のストラテジと運用能力—依頼の手紙の書き方を例に—」『日本語学 10 月号』。明治書院。

[illegible]